



巡回公演（能狂言）を鑑賞

7日（火）に文化庁の文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演事業）で、金剛会の皆様による、能・狂言の公演がありました。希望する学校に公演に来ていただける事業ですが、兵庫小は幸運にも3年連続で来ていただけました。

能・狂言（能楽）は、ユネスコの世界無形文化遺産に人形浄瑠璃や歌舞伎と共に、日本で最初に登録されました。普段触れることのない伝統芸能だと思いますが、室町時代から変わらず受け継がれている芸能の雰囲気を感じることができました。

まず、全員で狂言「柿山伏」を鑑賞しました。おもしろい仕草や擬音に低学年の子



たちもゲラゲラ笑っていました。コントのような感じで楽しめたようです。

能「鞍馬天狗」では、5年生が出演しました。6名は実際に舞台上立ち、10名は地謡として出演しました。舞台上では、で足歩き、両腕を少し開き加減に構えて

堂々と務めていました。

地謡は難しい節回しに苦勞したと思いますが、能楽師の方と一緒に「花咲かば〜」と謡っていました。

県学力調査・確認テストがありました

8日、9日に5年生の県学力調査（SASA）、8日に1～4年生、6年生の坂井地区確認テストがありました。どの学年の教室でも真剣に問題に向き合っている子どもたちの姿がありました。



私も県学力調査の問題をすべて解いてみましたが、なかなか難しかったです。特に近年の学力調査は、活用力をみるために問題が意味のある設定となるように工夫されています。そのため、とても問題文が長く読みこなすのに骨が折れます。長い文章を読みこなす力が必要です。（このことは全国学力調査のときにも触れました。）

さて、5年生のみなさんはどうでしたか。

むらづくり委員会がサポート章受賞

11月26日付の福井新聞や日刊県民福井に掲載されたとおり、下兵庫むらづくり委員会様が、内閣府による「子供と家族・若者応援団表彰（子供・若者育成支援部門）」のチャイルド・ユースサポート章を受賞されました。

この章は、子供・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動を行っている団体に贈られるものです。全国で7個人・団体が選ばれています。

むらづくり委員会の皆様には、兵庫小の勤労生産活動を毎年サポートしていただいていますので、その功績が認められたことが大変うれしく思います。おめでとうございます。今後もよろしく願いいたします。



日刊県民福井2021年11月26日